

HP: <https://rakuno.org/>

同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック (スケジュール)

07月17日 酪農18期A組同期会
07月19日 獣医47期10周年同期会
07月27日 新潟県支部総会
08月01日 酪農14期B組同期会
08月30日 兵庫県支部総会
09月13日 東京都支部総会
09月14日 獣医麻酔学ユニット同門会
09月18日 前学期学位記授与式
09月18日 大学院後学期入学式
09月21日 動物愛護フェスティバルin江別
10月10日 獣医同窓会三愛賞授賞式
10月11日 鹿児島県支部総会
10月18日 札幌支部総会inサロ
10月22日 獣医06期同期会
10月25日 家畜栄養&同窓会in全共
10月25日 獣医37期20周年同期会
10月28日 獣医09期卒50周年同期会
11月14日 短大Ⅱコース14期同期会
11月22/23 大学推薦入試日



ホームカミングデー開催報告



酪農学園ホームカミングデー2025は、酪農学園創立100周年に向けて“参加しやすい酪農学園の行事”を目指し、白樺祭に会場された地域の方も参加いただける、白樺並木植樹イベント・クイズ企画・キャンパスツアーなどを学生スタッフと教職員により実施しました。

また、記念講演には小説家 藤岡陽子氏をお招きし「酪農学園大学に出会えた奇跡」と題してご講演いただきました。

卒業生・旧教職員をはじめ、地域にお住まいの多くの皆さまに参加いただき、酪農学園大学の在学生をはじめ、附属とわの森三愛高等学校の生徒・教職員・卒業生が交流を深める貴重な機会となりました。(公式HPより転載)

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2025.04.01

目次:

ホームカミングデー開催報告	1
釧路地区機農高校同窓会報告	2
獣医学科岡山県支部同窓会報告	2
大学酪農学科18期生同期会報告	2
第二回創世寮OB交友会報告	3
環境共生学類1期生10周年同期会	3
酪小獣東北総会・小動物臨床研究会	3
関東甲信越地区新潟県支部総会報告	4
編集後記	4

2024年度 累計卒業生数

大学院 計	1,778名
大学 計	34,987名
短大 計	9,487名
高校 計	22,223名
合計 計	68,475名

酪農義塾 計 303名
酪農学校 計 *91,517名

総合計 160,295名

地区支部の設置状況()は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区:	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(0)
四国地区:	4支部(0)
九州地区:	8支部(0) 46支部(0)

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色: ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度 (白プリント)
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学: 研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校: 基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設: 旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、研修館周りのインフラ整備など

問合せ先: 事務局財務課 011-388-4148 (寄付担当)

関東甲信越地区新潟県支部総会報告



全国的な猛暑が続く昨今新潟県支部総会を7月27日(日)午後3時半より開催、事務提案の議案(役員改選を含む)を滞りなく審議可決し午後3時55分に無事閉会いたしました。

この度は来賓に伊藤眞美副学長、福山二仁関東地区会長、福田 豊次期東京支部長、また講師には中出哲也同窓会副会長のご臨席を賜りました。

講演は学園の創世から学生数の減少が止まない現状の説明と今後の取り組みについてのお話でありました。出席者一同は特に学生の定員割れを数字で認識して危機感を持ったようでした。

会員の出席者は前年に比べて半減いたしました。今年初めて出席の会員もあり事務局も来年に望を繋げた次第です。講演終了すぐに全員の記念撮影を行い、その後懇親会となりました。

懇親会は例年と同じく一年ぶりで顔を合わせ、お酒を酌み交わしつつ旧交を暖め2時間をもって、今年もお開きとなりました。



編集後記 今年の北海道は地球温暖化の影響からか例年になく猛暑日が多い。避暑地としての北海道のイメージとはほど遠く猛暑、酷暑の言葉が似あう。

7月5日(土)ホームカミングデーが開催された。

今年から大学校友会の周年同期会に代わるものとして開催された「同窓のつどい」には100名を超える同窓生や学園関係者に参加いただいた。軽食やビンゴゲームを楽しんでいただき、酪農アイスや健民牛乳を味わっていただいた。今後も継続開催の予定です。ぜひご参加下さい。

同窓会通信も100号となりました。コロナ禍で一時同窓会活動も下火になりましたが、少しずつ増えてきています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



酪農学園大学

ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

